

現代日本語の語構成要素

—— 和語を中心にして ——

Word-formation Elements in Modern Japanese: Focusing on Wago

山下 喜代

1. はじめに

現代日本語において、語の構成要素として造語力をもつ形態素にはどのようなものがあるのか。それを示すような資料は現在のところ見当たらない。

多くの国語辞典が語の構成要素として「造語成分」を見出し語に立項している。またその造語成分とは区別して「接辞」も立項している。しかし、国語辞典における造語成分と接辞の別は明確とは言えない。A辞典では接辞として見出し語に立項されているものが、B辞典では造語成分として立項されているということは珍しくない。この点については山下(1995)に詳しい調査報告がある。しかし、接辞と造語成分に何らかの違いを想定しているから区別して表示しているはずである。その基準が国語辞典によって異なるということである。したがって、現代日本語の語構成要素を網羅したデータベースを作成するためには、これらを区別することなく収集し、データベースを作成する必要がある。そこで、「造語成分」も「接辞」も「語を造る成分」と捉え、「造語成分」と一括して呼ぶことにしてデータベースを作成した。

本稿は、「造語成分データベース」における和語造語成分について、どのようなものがあるのかを示すとともに、「語形、接続、形態素の数、品詞性」の4項目について調査した結果を報告するものである。また、調査対象の9つの資料において、何種類の資料で採録されていたかという点も取り上げる。本稿ではこれを資料への「出現頻度」と呼び、その結果も示した。それは、その造語成分が造語成分としてどの程度認知されているかを表していると考えからである。そして本稿末に、2種類以上の調査資料に出現したすべての造語成分の頻度順一覧表を示した。

2. 「造語成分データベース」における和語

「造語成分データベース」の概要については、山下（2007）でも述べたが、その後の修正作業によって訂正及び変更した点があるので、改めて概略を述べることにする。

「造語成分データベース」は収録語数7万から9万の7種類の国語辞典を資料として、そこに見出し語として収録されている「接辞」と「造語成分」を抽出し作成したものである。さらに『分類語彙表増補改訂版』（2004）を基にして、そこで「-」付きで立項されているものをデータに加えた。さらに『日本語能力試験出題基準改訂版』（2002）の語彙表から「-」付きのデータを抽出して加えた。その結果、延べ数 16040 のデータが得られた。表1に調査対象の資料一覧と抽出した造語成分の数を示した。

その後、延べ語数データを基に見出し語の統一を行い、異なり語のデータベースを作成した。異なり語データベースを作成するに当たって、国語辞典や分類語彙表から抽出したデータのうち、助詞、助動詞、連語、句などに相当するものは、データから除外した。その結果、異なり語数は5097となった。異なり語データベースの情報項目は「見出し語・標準的表記・接続・語種・品詞性・各資料採録状況・資料出現頻度・語例」である。

異なり語5097の語種の内訳は、漢語3721（73.0%）、和語957（18.8%）、外来語393（7.7%）、混種語26（0.5%）である。データベースにおいて和語は20%に満たないわけであるが、特に、合成語の後項部分になる和語の造語成分は重要と言える。品詞決定機能を明確に持ち、その合成語は文の構成要素として直接的な働きをする場合もあるからである。以下では957の和語造語成分の特徴について見ていくことにする。

表1 調査対象と抽出造語成分の数

調査対象	〔略称〕	造語成分の数
岩波国語辞典6版（2000）	〔岩波〕	2601
明鏡国語辞典（2003）	〔明鏡〕	2560
新明解国語辞典6版（2005）	〔新明〕	3179
学研現代新国語辞典改訂3版（2002）	〔学研〕	923
三省堂国語辞典5版（2001）	〔三国〕	1375
新選国語辞典8版（2002）	〔新選〕	901
集英社国語辞典2版（2000）	〔集英〕	3635
分類語彙表増補改訂版（2004）	〔分類〕	599
日本語能力試験出題基準改訂版語彙表（2002）	〔基準〕	267
合計		16040

3. 和語造語成分の特徴

3-1 接続

接続は語構成上で前部分になるか、後部分になるか、またはその両方になりうるかを区別したものである。それぞれ、前接、後接、前後接と呼ぶことにする。和語造語成分においては、前接か後接かによって語構成上の働きが異なるので、その区別は重要である。

957 の和語造語成分のうち、前接の造語成分は 343 (35.8%)、後接は 487 (50.9%)、前後接は 127 (13.3%) である。山下 (1994a, 1994b) では『三省堂国語辞典第四版』を資料として接辞と造語成分の量的構造についての調査結果が述べられている。それによると、和語は接頭辞が 25.8%、接尾辞が 74.2% である。造語成分は前接が 27.6%、後接が 71.5%、前後接が 0.9% である。この結果と比較すると、「造語成分データベース」の和語については、後接の比率はそれほど高くなく、その一方で前接と前後接の比率が高くなっていると言える。

以下では、接続の違いに注目しながら、各項目について特徴を述べる。

3-2 語形

前接造語成分の語形における特徴として挙げられるのは、母音交替や促音化などの変音現象を起こしたものが見られることである。母音交替の例を語例とともに示すと「あま-(雨-) 雨音、雨傘」「あま-(天-) 天下り、天がける」「あら-(荒-) 荒野、荒稽古」「あら-(粗-) 粗削り、粗筋」などである。また促音化の例は動詞由来の造語成分で「おっ- (追っ-) 追っかける、追っ払う」「つっ- (突っ-) 突つつく、突っぱねる」「とっ- (取っ-) 取っ組み合う、取っ捕まえる」「ひっ- (引っ-) 引っ掻き回す、引っこ抜く」「ふっ- (吹っ-) 吹っ飛ぶ、吹っ飛ばす」などである。これらは、複数の国語辞典で接辞か造語成分として立項されている。

また、「打ち-、押し-、立ち-、引き-、空き-、生き-、作り-、開き-」などの動詞連用形（居体言）は 343 の前接造語成分のうち 183 (53.2%) を占める。ただし、この中で複数の国語辞典で接辞や造語成分として立項されているものはわずか 19 で、あとの 164 は 1 種類の辞典で取り上げられているにすぎない。その大半は『新明解国語辞典第六版』からのものである。データベースにおいて、前接造語成分が多くなっている理由はここにあると思われる。

後接造語成分においても、変音現象を起こした例が見られる。多くは連濁の例である。「-ぶり (-振り) 枝ぶり、仕事ぶり」「-がた (-方) 夕方、敵方」「-づれ (-連れ) 子供連れ、三人連れ」「-づたい (-伝い) 線路伝い、川伝い」「-づめ (-詰め) 箱詰め、走りづめ」などである。

前後接の造語成分 127 のうち、110 は居体言である。この中で、複数の国語辞典で取り上

げられているものは、28に過ぎない。

3-3 形態素の数

957の和語造語成分がいくつの形態素から成るかを見てみると、1形態素から成るものが908(94.9%)、2形態素のものが49(5.1%)で、大部分が1形態素のものである。2形態素の造語成分49のうち、複数の国語辞典で接辞または造語成分として立項されているものは12に過ぎない。その他の37は1種類の国語辞典でのみ立項されており、その中でも『新明解』のみ立項しているものが31ある。

前接造語成分のうち、2形態素のものは26である。その中で2種類の国語辞典で立項されているものは以下の3つの造語成分のみである。

「ひとつ- (一つ) 一つ覚え、一つ書き」「あおぞら- (青空-) 青空市場、青空駐車」「うきよ- (浮世) 浮世離れ、浮世話」

また、以上の3つと「へろへろ-/へろへろだま」以外は、「入れ代わり-、打ち上げ-、落ち着き-、立会い-」など、すべて複合動詞の連用形である。

2形態素の後接造語成分は15である。その中で、「-たらず」は8種類の辞典で立項されている。「-さまさま(様様) お金様様、こう暑くてはクーラー様様だ」と「-っこない/聞こえっこない、出来っこない」は4種類、「-そこそこ/千円そこそこ」「-しらず/風邪知らず、世間知らず」は3種類の辞典で立項されている。その他「-からがら/命からがら」「-たらたら/文句たらたら」のように、後接造語成分は置語が目につく。

前後接の2形態素造語成分は8あり、すべて「-うけいれ(受け入れ)-」「-うけおい(請け負い)-」「-とびこみ(飛び込み)-」など複合動詞の転成名詞(居体言)である。これらはすべて『新明解』に立項されていたものだが、辞典では「受け入れ態勢、請け負い仕事、飛び込み台」など、それぞれ合成語の前部分になっている語例しか示されていない。しかし、合成語の後部分になって「留学生受け入れ、下請け負い、高飛び込み」のように複合名詞を形成する場合もあるので、ここでは前後接の造語成分と見なしている。

3-4 品詞性

造語成分の品詞性を考えるに当たっては、二つの視点が考えられる。一つはその造語成分がどのような品詞に由来するかという視点であり、もう一つはその造語成分がどのような品詞の合成語を形成するかという視点である。この二点から特徴を述べることにする。

3-4-1 品詞性からみた和語造語成分の由来

造語成分は語の構成要素であるから、それだけで自立して語になれるとは限らない。先に挙げた「あま-(雨-)」 「あら-(荒-)」等が、その例である。一方で「青空-」「-飛び込

み-」等は、それ自体、自立して語を形成できる。品詞は本来、文構成上の統語的役割によって語を分類したものであるから、語ではなく直接的に文構成に関わることのない造語成分の品詞を決めることは、困難も伴う。しかし、先に挙げた例を含め、その造語成分の意味・用法から考えて元となる語を想定できるものも多く含まれている。そこで、以下のような品詞性を定め、造語成分を分類した。分類できないものは「その他」とした。

体言類：いわゆる名詞に相当するものやその異形態、あま-（雨-）等を含む。

相言類：形容詞や形容動詞の語幹などに相当するもの。

用言類：動作や作用を表すいわゆる動詞に相当するもの。動詞の転成名詞やサ変動詞の語幹になるものも含める。

助数詞類：数を表す語に後接してどのような事物の数量かを表すもの。

数詞類：数量や順序を数で表すもの。

その他：副詞的あるいは連体詞的な意味をもつもの、無意味形態素^(注)、接辞らしい接辞で品詞性の決めがたいもの。

957 の和語造語成分について、全体と接続で分けたものを品詞性で分類した結果を表2に示した。

表2 和語造語成分の品詞性

品詞性	全 体	前 接	後 接	前後接
体言類	152 (16.0%)	55 (16.0%)	86 (17.7%)	11 (8.7%)
用言類	539 (56.3%)	183 (53.4%)	246 (50.5%)	110 (86.6%)
相言類	48 (5.0%)	24 (7.0%)	19 (3.9%)	5 (3.9%)
助数詞	27 (2.8%)	0	27 (5.5%)	0
数 詞	18 (1.9%)	18 (5.2%)	0	0
その他	173 (18.1%)	63 (18.4%)	109 (22.4%)	1 (0.8%)
合 計	957 (100%)	343 (100%)	487 (100%)	127 (100%)

和語造語成分全体から見ると、用言類が過半数を占め、次にその他、体言類、相言類、助数詞、数詞と続く。

体言類の前接造語成分は、複数の資料に出現するものは33あり、1種類の資料のみに出現するものは22である。その出現頻度2以上の33の造語成分を見ると、「鬼-、空-、手-、豆-、犬-、草-、熊-、丸-」など、25は単独で語として機能する自立用法のあるものである。これらの造語成分は自立語としての意味とは異なる意味で造語に与かる。その他の8つの造語成分は「うわ（上）-、かな（金）-、ふな（船）-」などの音韻変化を起こしたものである。これらは、意味の上では「うえ、かね、ふね」などの自立用法の語と変わらない。

体言類の後接造語成分は86であるが、資料出現頻度2以上のものは48、頻度1が38と

なっている。頻度1のものを除外した48について見ると、「-目、-上、-並み、-株、-柄、-面、-物」など、26は自立用法がある。その他の22のうち18は「-がた(方)、-ばな(端)、-ぐさ(草)、-ぎわ(際)」などの連濁化したものである。残りの3つの造語成分は「-かた(方)、-どん(井)、-きち」である。「-どん」は「どんぶり」、「-きち」は「きちがい」の省略形である。合成語では後項部分が意味の中核となることが多いので、後接造語成分も意味的には自立用法の意味と同じか、明確な意味を有するものが多くを占める。ただし、「-うえ(母上)、-ごし(喧嘩ごし)、-むし(泣き虫)」など、造語成分として派生した意味を表すものもある。

用言類の前接造語成分183のうち、出現頻度2以上のものは19しかない。資料における共通度は非常に低い。それらは「うち-(打ち見る)、おし-(押し通す)、たち-(立ち返る)、とっ-(取っ組む)、ふっ-(吹っ飛ぶ)」などであるが、すべて動詞の連用形と促音化したものである。意味は元の動詞とは異なり、派生した造語成分としての意味を表すものがほとんどである。頻度1のものには、「うちあげ-、うめたて-、おちつき-」など、合成語の造語成分も含まれている。

用言類の後接造語成分は246ある。出現頻度2以上のものは149である。「-ずくめ(黒ずくめ)、-ぐるみ(会社ぐるみ)」など、連濁したものも多い。「-むけ(海外向け)、-こむ(呼び込む)」など、すべて動詞の連用形か終止形である。

相言類の造語成分は48ある。前接と後接では語数は大差ないが、前接造語成分は結合する語を前から修飾する働きをする場合が多く、比率がやや高くなっている。相言類の造語成分のうち、出現頻度2以上のものを接続別に示すと以下のとおりである。数字は出現頻度である。

前接造語成分16

9おお-(大掃除)、8あら-(新手)、8うすら-(薄ら寒い)、8ま-(真正直)、7なま-(生返事)、7み-(深雪)、6あら-(荒波)、6あら-(粗削り)、6ぼろ-(ぼろもうけ)、6わか-(若夫婦)、6わる-(悪知恵)、5しら-(白梅)、5ふる-(古雑誌)、4あだし-(あだし心)、2おさな-(幼顔)、2はや-(早起き)

後接造語成分11

7-がましい(うらみがましい)、7-だか(収穫高)、6-がたい(信じ難い)、6-にくい(見にくい)、6-やすい(住みやすい)、5-くさい(面倒くさい)、5-づらい(言いつらい)、5-ない(頼りない)、4-がたない(忘れがたない)、4-よい(読みよい)、3-ぶかい(遠慮深い)

「あだし-」や「-がたない」など、やや古い造語成分もあり、これらは現在では造語力がほとんどないものと言えよう。相言類の造語成分は意味的には元の形容詞の意味をそのまま残しているものが大部分である。

前接造語成分には数詞があるのが特徴である。表3に18語の数詞を出現頻度順に語例とともに示した。

同じ数詞でも資料における出現頻度に大きな違いがあることが注目される。最も出現頻度の高い「ひと-」は単に数の意味を表すだけでなく、「一芝居、一財産」など「ちょっとした」とか「かなりの」という意味を表すこともある。意味の派生が起きている多義語である。数詞の中で多義であるものとしては、「なな-」「もも-」「やつ-」「ここの-」などが挙げられる。

「ひとつ-」は造語成分「ひと-」に、「-つ」という接尾辞が結合した2形態素の造語成分である。この他に「みつ-、よつ-、むつ-、やつ-」が挙げられている。それに対して「ふたつ-、いつつ-、ここのつ-」は挙がっていない。「よ- (四)」については、「よつ-」「よん-」と異形態も造語成分として挙げられているが、これも『新明解』で立項されたものである。

何を造語成分として立項するか判断基準はそれぞれの資料によって異なると思うが、その造語成分の意味の多様性や広く他の語と結びつく結合力が反映されていると思われる。

表3 数詞の造語成分（出現頻度順）

数詞	語例	頻度
ひと-	一皿、一仕事	8
ふた-	二心、二晩	5
ここの-	九日、九重	4
と-	十たび、十つき	3
み-	三月、三度	3
や-	八つ、八重	3
よ-	四番、四台	3
なな-	七色、七光り	2
ひとつ-	一つごと、一つ屋根	2
もも-	ももしき、ももとせ	2
とお-	十円安	1
はた-	二十歳、十重二十重	1
みつ-	三折、三星	1
むつ-	六つ切り	1
やお-	八百屋、八百長	1
やつ-	八つ裂き、八つ当たり	1
よつ-	四葉、四足	1
よん-	四本、四丁目	1

3-4-2 和語造語成分が形成する合成語の品詞

前接造語成分はどのような品詞の語と結合するかは、ある程度決まっている。例えば「そら-」は、「空涙、空とばける、空恐ろしい」など名詞、動詞、形容詞に前接してそれぞれ

の品詞の合成語を形成する。造語成分自体には、品詞を変える機能はない。それに対して、後接造語成分はそれ自体が合成語の品詞を決定する。例えば、「-がる」は「痛がる、得意がる」など、形容詞や形容動詞の語幹に後接してそれらを動詞に変換する。このように、後接造語成分は、それ自体が合成語の品詞を決定する機能を持つ点で重要である。ここでは、後接造語成分について、その品詞変換機能に注目し、どのような品詞の合成語を形成するかという点からデータを見ることにする。

表4は後接造語成分がどのような品詞の合成語を形成するのか、その品詞によって分類した結果を語数と比率で示したものである。

名詞となる造語成分が6割以上を占めている。体言類の後接造語成分は86しかない。用言類の転成名詞が127で、その他が73、助数詞26、相言類4となっている。

動詞になるものは124で、出現頻度2以上のものは64である。そのうち、頻度7以上のものは「-がる、-ぐむ、-ばむ、-びる、-めく、-ぶる、-めかす、-だつ、-つく、-ばる」などで、いわゆる和語接尾辞に分類されるものである。その他は、「-さす、-そびれる、-ふるす、-あう、-かねる」などの動詞である。

形容詞になる25の造語成分は、「-たらしい、-らしい、-ばい、-がましい、-めかしい、-がたい、-にくい、-っこい」など、非自立形態素がほとんどである。

形容動詞になるものは、「-ぎらい、-すぎ、-がし、-好き、-そっくり、-たげ、-たそう、-ちき、-ちょ、-みどろ、-やか、-ゆたか」の13の造語成分である。

副詞になるものは、「-ごと、-がてら、-すがら、-だてら、-ずから、-と、-からがら、-たらたら、-とおり、-ちかく」の10の造語成分である。

連体詞は「-なす」のみである。

表4 後接造語成分による合成語の品詞

語数と比率

品詞	語数と比率
名 詞	314(64.5%)
動 詞	124(25.4%)
形 容 詞	25(5.1%)
形容動詞	13(2.7%)
副 詞	10(2.1%)
連 体 詞	1(0.2%)
合 計	487(100.0%)

4. 調査資料における出現頻度から見た和語の特徴

4-1 頻度から見た全体の特徴

9種類の調査対象資料において、いくつの資料で造語成分として立項されていたかを調べた結果が出現頻度である。

和語造語成分について頻度順に語数と比率を表5に示した。この結果から、1種類の資料にしか立項されていないものが過半数を超え、頻度1と2で64%を占めることが分かる。すべての資料に出現した頻度9の語はわずか19語(2.0%)にすぎない。資料の共通度はか

なり低いと言えよう。

全体的には頻度 9 が最も少ないが、頻度 3 と 7 の造語成分が多くなっており、頻度 5 より頻度 8 のほうが多いなど、頻度が高いほど語数が少なくなっているわけではない。ばらつきが大きいと言える。

また、頻度 1 の造語成分は採録した資料が何を造語成分とするかという独自の立場を反映したものと言え、必ずしも造語成分と認知されているものとは限らない。この頻度 1 を除外すると造語成分の数は 455 (47.5%) になる。これを接続別に見ると、前接語 125 (27.5%)、後接 293 (64.4%)、前後接 37 (8.1%) である。これら頻度 2 以上の造語成分を接続別に、頻度、見出し語、接続、品詞性、語例の情報をつけて、頻度順に並べ、本稿末に示した。

表 5 和語造語成分の
出現頻度語数と比率

頻度	語数と比率
9	19(2.0%)
8	45(4.7%)
7	67(7.0%)
6	54(5.6%)
5	35(3.7%)
4	58(6.0%)
3	66(6.9%)
2	111(11.6%)
1	502(52.5%)
合計	957(100.0%)

4-2 高頻度と低頻度の和語造語成分

9 種類の資料のうち、半数以上で立項されているものを高頻度造語成分と呼ぶことにする。すなわち頻度 5 以上で、221 の造語成分が相当する。この 221 は全体の 23.1% に当たる。これらと頻度 1 の 502 (52.5%) を低頻度造語成分として比較し、その接続と品詞性について調べた結果を示したのが表 6 と表 7 である。

表 6 高頻度造語成分と
低頻度造語成分の接続

接続	高頻度	低頻度
前接	59(26.7%)	217(43.2%)
後接	148(67.0%)	194(38.7%)
前後接	14(6.3%)	91(18.1%)
合計	221(100.0%)	502(100.0%)

表 7 高頻度造語成分と
低頻度造語成分の品詞性

品詞性	高頻度	低頻度
体言類	36(16.3%)	66(13.1%)
用言類	81(36.7%)	343(68.3%)
相言類	23(10.4%)	18(3.6%)
助数詞	2(0.9%)	15(3.0%)
数詞	2(0.9%)	8(1.6%)
その他	77(34.8%)	52(10.4%)
合計	221(100.0%)	502(100.0%)

表 6 から、高頻度の和語造語成分は、後接するものが多いことが分かる。低頻度造語成分については前接と後接にあまり差はないが、前接するものが多い。表 7 から高頻度は、用言類が最も多く、その他、体言類、相言類と続く。これに対して、低頻度は用言類が特に多く、体言類、その他と続く。用言類は先に述べたように、動詞連用形の転成名詞が多く含まれている。このような語は自立語の動詞として立項されているので、造語成分とは見なさな

い辞典類が多いと思われる。

高頻度の造語成分にはどのようなものがあるのだろうか。頻度 9 の 19 の造語成分を語例とともに示すと以下のとおりである。

前接造語成分：お - (お手紙)、おお - (大広間)、こ - (小雨)

後接造語成分：- がる (暑がる)、- ごと (日ごと)、- さま (山田様)、- さん (娘さん)、
- だらけ (ごみだらけ)、- ちゃん (花子ちゃん)、- み (深み)、- や (肉屋)、
- ら (子どもら)、- かつ (行き方)、- め (五年目)、- おき (三日おき)、
- かけ (読みかけ)、- がち (病気がち)、- つき (顔つき)、- ぶり (三年ぶり)

品詞性を見ると、用言類の造語成分が 5、体言類 2、相言類 1、その他 11 であるが、多くは形式的な意味を添えるいわゆる接辞類である。頻度 9 の造語成分の品詞性による分類結果は、7 で示した高頻度造語成分の結果と重なる。

5. おわりに

本稿は国語辞典などを資料として作成した「造語成分データベース」の中から、和語造語成分を取り上げ、どのような種類の造語成分があるのかを一覧表にして示した。そして、接続、語形、形態素の数、品詞性についてその特徴を見た。その結果は以下のようにまとめられる。

- (1) 接続については、後接する造語成分が半数 (50.9%) を占める。
- (2) 語形は、母音交替、濁音化、促音化など音韻変化を起こしたものが見られる。また動詞の連用形が多数見られる。
- (3) 形態素の数については、1 形態素の造語成分が大部分 (94.9%) であるが、2 形態素のものも見られる。
- (4) 品詞性は造語成分の元となる語は用言類が最も多く半数以上 (56.4%) を占める。その次が接辞類などで、次が体言類と続く。また、後接造語成分の品詞転換機能から見ると、名詞になるものが 64.5% で最も多い。次が動詞になるもので 25.4% である。このふたつで 90% を占めている。
- (5) いくつかの調査対象で造語成分として取り上げられていたかを調査した結果、1 種類の資料にしか出現しないものが過半数を占め (52.5%)、半数以上の資料で出現するものは 23.1% に過ぎず、共通度はかなり低いと言える。

本稿は、和語造語成分の量的構造について、ごく一部の側面を調査した結果報告に過ぎない。造語成分の意味や形成される合成語についての調査は今後の課題としたい。

【注】

無意味形態素は宮島達夫（1973）で使われた術語である。p.15「それ自身では積極的な意味をもっておらず、つねに他の特定の（有意味な）要素と結びついてあらわれる要素」と定義されている。和語造語成分では、「いけ-（いけすかない）、か-（かばそい）、-がる（いやがる）、-びる（おとなびる）」などの例である。

【参考文献】

- 宮島達夫（1973）「無意味形態素」（国語研『ことばの研究論集4』）
- 山下喜代（1994a）「接辞分類表の作成 — 三省堂国語辞典第4版を資料として —」（『講座日本語教育』29 早稲田大学日本語研究教育センター）
- 山下喜代（1994b）「語の構成要素 — 国語辞典における造語成分について —」（『紀要』6 早稲田大学日本語研究教育センター）
- 山下喜代（1995）「国語辞典における語構成要素の扱いについて」（『紀要』7 早稲田大学日本語研究教育センター）
- 山下喜代（2007）「現代日本語の語構成要素—外来語を中心に—」（青山学院大学文学部『紀要』48号）
（本稿は、平成17年～19年度科学研究費補助金基盤研究（c）「日本語教育のための合成語のデータベース構築とその分析」による研究成果の一部である。）

資料1 和語前接造語成分出現頻度順表

頻度	見出し語	語例	品詞性
1	9 おー	御手紙、御富さん、お考え、お野菜	その他
2	9 こー	小雨、小うるさい	その他
3	9 おおー	大型、大広間、大食い、大掃除	相言類
4	8 あいー	相はげむ、相語らう、相部屋	その他
5	8 かたー	片目、片田舎、片言、片時、片手間、片意地	その他
6	8 はつー	初舞台、初雪、初仕事	その他
7	8 ほのー	灰白い、灰暗い、ほの見える、ほのめく、	その他
8	8 みー	御仏、御心、御子、御世	その他
9	8 ひとー	一にぎり、一山百円、一悶着、一かけら	数詞
10	8 あらー	新ぼとけ、新手、新湯	相言類
11	8 うすらー	薄ら明かり、薄ら氷、薄ら寒い、薄ら笑い	相言類
12	8 まー	真心、真水、真四角、真正直、真新しい	相言類
13	8 うわー	上あご、上着、上まわる	体言類
14	7 いけー	いけしゃあしゃあ、いけずうずうしい	その他
15	7 うらー	うらがなしい、うらさびしい	その他
16	7 えせー	似非学者	その他
17	7 おー	男滝、男波、男神、男竹、雄牛	その他
18	7 おみー	御御足、御御くじ	その他
19	7 かー	かよわい、かほそい	その他
20	7 つんー	つんのめる、つん出す	その他
21	7 でもー	でも医者、でもしか先生	その他
22	7 どー	どまんなか、どえらい、どけち	その他
23	7 ものー	ものがない、ものさびしい、もの静か	その他
24	7 なまー	生クリーム、生傷、生返事、生ぬるい	相言類
25	7 みー	深雪、深空	相言類
26	7 おにー	鬼シダ、鬼アザミ、鬼將軍	体言類
27	7 そらー	そらとほける、空似	体言類
28	7 てー	手ひどい、手がたい	体言類
29	7 まめー	豆ランプ、豆本、豆台風、豆剣士	体言類
30	7 めー	雌花、雌滝、雌やぎ、女神	体言類
31	7 うちー	うち見る、うちつづく	用言類
32	7 おしー	押し入る、押し通す	用言類
33	7 おっー	押ったまげる、押っばじめる、押っかおせる	用言類
34	7 くされー	腐れ金、腐れ儒者、腐れ縁	用言類
35	7 たちー	立ちかえる、立ちおよぶ	用言類
36	7 ひきー	引きおこす、引きさえる	用言類
37	7 ぶっー	ぶっとばす、打ったまげる、打っ倒れる	用言類
38	6 したー	下書き、下準備、下しらべ、下ごしらえ	その他
39	6 ともー	共倒れ、共ばたらき、共ざれ	その他
40	6 ひんー	ひんまげる	その他
41	6 またー	又聞き、又借り、又貸し	その他
42	6 あらー	荒海、荒武者、荒治療、荒稼ぎ	相言類
43	6 あらー	粗塗り、粗造り、粗削り、粗筋	相言類
44	6 ぼろー	ぼろもうけ、ぼろ負け	相言類
45	6 わかー	若草、若夫婦、若向き	相言類
46	6 わるー	悪遊び、悪ちえ、悪遠慮、悪達者	相言類
47	6 いぬー	犬ざむらい、犬死に	体言類
48	6 くさー	草競馬、草野球、草相撲	体言類
49	6 くまー	熊蟬、熊蜂	体言類
50	6 まるー	丸はだか、丸もうけ	体言類
51	6 ぶちー	打ち壊す、打ちのめす	用言類
52	5 すめー・すめらー	皇みくに、すめ大神	その他
53	5 べたー	べたつく、べたばめ、べたばれ	その他
54	5 まんー	まん前、真ん中、真ん丸い	その他
55	5 ふたー	二心、二通り、ふた晩、ふた月	数詞
56	5 しらー	白帆、白壁、白梅、白糸、白木、白焼き	相言類
57	5 ふるー	古新聞、古兵、古傷、古雑誌	相言類
58	5 あおー	青二才、青女房、青臭い	体言類
59	5 ぬかー	糠雨、糠喜び	体言類
60	4 しちー	しちめんどう、しちむずかしい	その他
61	4 すっー	素っ裸、素っとほける、素っ頓狂、すっとばす	その他
62	4 ひいー	曾おじいさん、曾孫	その他
63	4 ひがー	僻事、僻目、僻耳、僻歌、僻覚え、僻者	その他
64	4 ひたー	直走る、直隠しにする、ひた泣き、ひた押し	その他
65	4 ぶんー	ぶんなぐる、ぶんまわす、ぶん投げる	その他
66	4 まっー	真っ黒、真っ白い、真っばだか	その他
67	4 まなー	愛娘、愛弟子	その他
68	4 もろー	諸人、諸手、諸寝、諸刃	その他
69	4 ここのー	九たび、九重、九日	数詞
70	4 あだしー	あだし男、あだし心、あだしなだけ	相言類
71	4 あかー	赤裸、赤はじ	体言類
72	4 いまー	今浦島、今業平	体言類
73	4 うそー	うそ寒い	体言類
74	4 かなー	金だらい、金物、金棒	体言類
75	4 からー	空財布、空くじ、空約束、空いばり	体言類
76	4 ぬのー	布羽目、布竹	体言類
77	4 ふなー	船荷、船火車、船主、船旅	体言類
78	4 とっー	取っばずす、取っつかまえる、とっ組む	用言類
79	4 ひっー	引っつかむ、引っかきまわす	用言類
80	3 おおみー	大御心、大御言	その他
81	3 かつー	掻っばらう、掻っさう	その他
82	3 からー	唐綾、唐様、唐文字、唐獅子、唐芋	その他
83	3 さかー	逆子、逆恨み、逆上がり	その他
84	3 たー	たなびく、たやすい、たばかる	その他
85	3 つっー	突っつく、突っばしる、突っこむ	その他
86	3 ままー	継子、継母	その他
87	3 とー	十たび、十つき	数詞
88	3 みー	三年、三月、三十日、三千年	数詞
89	3 やー	八重	数詞

	頻度	見出し語	語例	品詞性
90	3	よー	四月	数詞
91	3	あまー	雨宿り、雨合羽、雨傘	体言類
92	3	さかー	酒蔵、酒場、酒屋	体言類
93	3	ひなー	雛菊、雛形	体言類
94	3	むらー	群すずめ	体言類
95	3	やまー	山ねこ、山ぶどう、山鳩	体言類
96	3	ふっー	吹っ飛ぶ、吹っ飛ばす	用言類
97	2	あまつー	天つ風、天つ神、天津風	その他
98	2	ささー	細波、小にごり	その他
99	2	ついー	つい居る、つい立つ	その他
100	2	とこー	常夏	その他
101	2	ふたー	双子、双葉	その他
102	2	もてー	もてかくす、もてはやす	その他
103	2	んー	ん万円	その他
104	2	ななー	七色、七番打者、七度、七光り	数詞
105	2	ひとつー	一つごとをいう、一つ屋根の下に住む	数詞
106	2	ももー	百歳、百度、百日、百船、百草	数詞
107	2	おさなー	幼友達、幼顔、幼心、幼馴染	相言類
108	2	はやー	早じまい、早起き、早合点	相言類
109	2	あおぞらー	青空教室、青空市場、青空駐車	体言類
110	2	あたまー	頭打ち、頭金、頭数、頭越し	体言類
111	2	あまー	天くだり、天がける	体言類
112	2	いなー	稲作、稲穂	体言類
113	2	うきよー	浮世寺、浮世笠	体言類
114	2	うまー	馬ぜり、馬芹	体言類
115	2	おかー	岡惚れ、岡目、岡焼	体言類
116	2	おもー	面長、面差し、面映い	体言類
117	2	おやー	親見出し、親会社、親機	体言類
118	2	あきー	空き部屋、空き缶、空き瓶	用言類
119	2	いきー	生き馬、生き証人、生き字引	用言類
120	2	おっー	追っかける、追っつかない、追っ払う	用言類
121	2	くるいー	狂い咲き、狂い咲く	用言類
122	2	さかりー	盛り場	用言類
123	2	つくりー	作り上げる、作り変える	用言類
124	2	ひらきー	開き戸、開き直る	用言類
125	2	まかりー	罷り在り、罷り出る、罷り通る	用言類

資料2 和語前後接造語成分出現頻度順表

頻度	見出し語	語例	品詞性
1 8	-うす-	気乗り薄、見込み薄、期待薄、うすみどり	相言類
2 8	-て-	てぬるい、三番手、書き手	体言類
3 8	-たて-	立て女形、立て行司、生み立て、塗り立て	用言類
4 7	-くそ-	下手糞、やけ糞、くそおやじ、くそまじめ	体言類
5 7	-ひめ-	姫鏡台、かぐや姫	体言類
6 7	-あたり-	食当たり、暑気当たり、当たりくじ	用言類
7 7	-あまり-	余り物、三十名余り、五日余り	用言類
8 7	-さし-	差し迫る	用言類
9 7	-とり-	取り片づける、取りのぼせる、取り囲む	用言類
10 6	-とも-	送料とも二千元、三人共合格した、共倒れ	その他
11 6	-やす-	三円安、円高ドル安、安請け合い、安月給	相言類
12 6	-くち-	口出し、一口	体言類
13 6	-そろい-	揃い踏み、傑作揃い	用言類
14 6	-まぎれ-	苦し紛れ、くやし紛れ、紛れ込む	用言類
15 4	-なが-	おも長、長患い	相言類
16 4	-あい-	合性、意味合、義理合、間合	用言類
17 4	-おろし-	つくばおろし、さつまおろし、おろし金	用言類
18 4	-かき-	掻き分ける、掻きくどく、雪かき	用言類
19 4	-まわし-	ねじ回し、たらいまわし、回し飲み、回し者	用言類
20 3	-うけ-	受け皿、受け軸、郵便受け、軸受け	用言類
21 3	-かかえ-	一抱え、抱え込む	用言類
22 3	-ながれ-	流れ込む、流れ着く、のぼり、ひと流れ	用言類
23 3	-わけ-	組分け、山分け、分け前	用言類
24 2	-どろ-	こそどろ、どろ的	体言類
25 2	-あらし-	荒らし回る、学校荒らし、道場荒らし	用言類
26 2	-いれ-	入れ替わる、入れ菌、名刺入れ、筆入れ	用言類
27 2	-おさめ-	納め会、見納め、舞い納め、歌い納め	用言類
28 2	-かわり-	代わり合う、代わり映え、香典代り	用言類
29 2	-きき-	利き腕、左利き、目利き	用言類
30 2	-ちがい-	違い棚、違い目	用言類
31 2	-つき-	突き進む、ひと突き	用言類
32 2	-つぶし-	潰し餡、潰し値段、穀潰し	用言類
33 2	-なおし-	直しもの、書き直し、仕切り直し	用言類
34 2	-はなれ-	離れ島、離れ離れ	用言類
35 2	-ほし-	干し草、干し場、生干し、みりん干し	用言類
36 2	-まがい-	紛い物、象牙まがいの細工物	用言類
37 2	-わたり-	渡り合う、渡り歩く、渡り板、綱渡り	用言類

資料3 和語後接造語成分出現頻度順表

頻度	見出し語	語例	品詞性	頻度	見出し語	語例	品詞性
1	9 -がる	暑がる、強がる	その他	41	8 -すぎ	九時過ぎ、飲み過ぎ、太り過ぎ、食べ過ぎ	用言類
2	9 -ごと	日毎、見る毎、皮ごと、一年毎	その他	42	8 -ずくめ	いいことずくめ、規則ずくめ、黒ずくめ	用言類
3	9 -さま	松田様、お気の毒様	その他	43	8 -たらず	寸足らず、一時間足らず、五分足らずの話	用言類
4	9 -さん	山田さん、課長さん	その他	44	8 -づくし	宝尽くし、心尽くし、花尽くし	用言類
5	9 -だらけ	ごみだらけ、血だらけ	その他	45	8 -づれ	子供連れ、足軽連れ	用言類
6	9 -ちゃん	一郎ちゃん、おにいちゃん	その他	46	8 -ぶる	学者ぶる、兄貴振る、もったいぶる	用言類
7	9 -み	深み、赤み、やわらかみ	その他	47	8 -むけ	海外向け、高齢者向け、南米向け	用言類
8	9 -や	肉屋、八百屋、空き家、やかまし屋	その他	48	8 -めかす	金持ちめかす、冗談めかす、ほめめかす	用言類
9	9 -ら	子供等、これ等、鈴木さん等、あいつ等	その他	49	7 -こつきり	一度こつきり	その他
10	9 -かた	行き方、撃ち方、会計方、相手方	体言類	50	7 -ごっこ	鬼ごっこ、おっかけごっこ	その他
11	9 -め	五年目、わかれ目、長目、折り目、短目	体言類	51	7 -さ	さむさ、うれしさ、豊かさ	その他
12	9 -おき	三日置き、四行置き、二メートル置き	用言類	52	7 -ざま	うしろざま、ふりかえりざま、書き様	その他
13	9 -かけ	読み掛け、壊れ掛け、帽子掛け	用言類	53	7 -しな	行きしな、出て来しな、帰りしな	その他
14	9 -がち	黒目勝ち、曇り勝ち、病気がち	用言類	54	7 -だてら	女だてらに	その他
15	9 -つき・-づき	役付き、顔付き、三食付き	用言類	55	7 -つ	ひとつ、ふたつ、一筒、九筒	その他
16	9 -ぶり	手振り、三年ぶり、あわて振り、混雑振り	用言類	56	7 -ども	けらいども、者ども、野郎ども、わたくしども	その他
17	8 -がてら	花見がてら、散歩がてら	その他	57	7 -なり	言うなり、子供なり	その他
18	8 -ぐむ	涙ぐむ、芽ぐむ	その他	58	7 -ばい	飽きっぽい人、油っぽい	その他
19	8 -すがら	日すがら、道すがら、旅すがら、身すがら	その他	59	7 -もどき	梅もどき、芝居もどき、雁もどき、	その他
20	8 -たらしい	貧乏たらしい、未練たらしい	その他	60	7 -や	ばあや、ねえや	その他
21	8 -どん	番頭どん、お花どん	その他	61	7 -がましい	さし出がましい、うらみがましい	相言類
22	8 -ばむ	けしきばむ、黄ばむ	その他	62	7 -だか	収穫高、三円高、生産高	相言類
23	8 -ばら	殿ばら、奴ばら、雑人ばら、役人ばら	その他	63	7 -うえ	葵上、父上、母上、兄上	体言類
24	8 -びる	おとなびる	その他	64	7 -ばな	出端、寝入り端	体言類
25	8 -ぼっち	これっぽっち、百円ぼっち、ひとりぼっち	その他	65	7 -あて	ひとりあて、学校あて	用言類
26	8 -まえ	気前、建前、取り前、持ち前、五人前の料理	その他	66	7 -がかり	芝居がかり、三年がかり、親がかり、五人掛かり	用言類
27	8 -まる	牛若丸、日本丸、こがね丸、本丸、二の丸	その他	67	7 -がかる	灰色がかる、芝居がかる、赤みがかる、	用言類
28	8 -みどろ	汗みどろ、血みどろ	その他	68	7 -がけ	八掛け、帰り掛け、ゆかた掛け、三人掛け	用言類
29	8 -め	こいつ奴、おやじ奴	その他	69	7 -ごかし	おためごかし、親切ごかし	用言類
30	8 -めく	春めく、わざとめく	その他	70	7 -ごし	ふすま越し、三年越し、	用言類
31	8 -らしい	男らしい態度、学生らしい	その他	71	7 -しき・-じき	道路敷、軌道敷、板敷き	用言類
32	8 -がた	二割方、明け方、夕方、敵方	体言類	72	7 -じみる	あか染みる、としより染みる、子供染みた	用言類
33	8 -なみ	人並み、世間並み、月並み、軒並み	体言類	73	7 -ずく	力ずく、相談ずく、計算ずく、納得ずく	用言類
34	8 -ばなし	開け放し、言っぱなし、敷きっぱなし	用言類	74	7 -ぞい	川沿い、山沿い、線路沿い	用言類
35	8 -あがり	雨上がり、病み上がり、教員上がり	用言類	75	7 -ぞめ	書き初め、渡り初め、食い初め	用言類
36	8 -がらみ	四十がらみ、千円がらみ、総選挙がらみ	用言類	76	7 -たつ・-だつ	たけり立つ、たぎり立つ、殺気立つ、鳥肌立つ	用言類
37	8 -くんだり	こんな田舎くんだりまで	用言類	77	7 -だて	平屋建て、一戸建て、三階建て	用言類
38	8 -ぐるみ	家族ぐるみ、企業ぐるみ	用言類	78	7 -つく・-づく	がた付く、ちら付く、調子付く、ふらつく	用言類
39	8 -ごえ	垣根越え、ひよどり越え、天城越え	用言類	79	7 -づたい	川伝い、線路伝い	用言類
40	8 -さし	言い止し、読み止し、食いさし	用言類				

頻度	見出し語	語例	品詞性	頻度	見出し語	語例	品詞性
80	7 -づめ	本店詰め、走り詰め、箱詰め、規則詰め	用言類	119	6 -よばわり	泥棒呼ばわり、お前呼ばわり	用言類
81	7 -どおし	走り通し、勉強し通し、座り通し	用言類	120	6 -より	山寄りの畑、南寄りの風、海寄りの道	用言類
82	7 -どおり	銀座通り、九分通り、従来通り、予想通り	用言類	121	5 -こし	太刀一腰	その他
83	7 -はり・-ばり	ゴッホ張り、弓一張り、五人張り	用言類	122	5 -さお	五竿、桐だんす二棹	その他
84	7 -ばる	形式張る、四角張る、骨張る、欲ばる	用言類	123	5 -ずから	口ずから、手ずから	その他
85	7 -もよい	雨催い、雪催いの空	用言類	124	5 -たげ	帰りたげな顔つき	その他
86	6 -がし	これ見よがし	その他	125	5 -っこい	あぶらっこい	その他
87	6 -こ	餡こ、べしゃんこ	その他	126	5 -で	使いで、読み出、歩き出	その他
88	6 -たり	幾たり、二人、三人みたり、四人よったり	その他	127	5 -ひら	一片の花卉、花びら、一片の雪	その他
89	6 -っこ	かけっこ、とりかえっこ、取りっこ	その他	128	5 -ぼち	これっぽっちじゃ足りない	その他
90	6 -っぱい	水っぱい、あきっぱい、色っぱい、怒りっぱい	その他	129	5 -やか	冷ややか、しめやか	その他
91	6 -ぼつきり	一人前三百円ぼつきり	その他	130	5 -くさい	面倒臭い、ばか臭い、けちくさい	相言類
92	6 -めかしい	古めかしい	その他	131	5 -づらい	言いづらい、分かりづらい、頼みづらい	相言類
93	6 -とせ	幾年、一年ひととせ、千年ちとせ	助数詞	132	5 -ない	あどけない、頼り無い、致し方ない	相言類
94	6 -わ	一羽のカラス、三羽、六羽	助数詞	133	5 -ぎわ	窓際、別れ際	体言類
95	6 -がたい	信じ難い、耐え難い、忘れ難い	相言類	134	5 -すじ	ねらい筋、街道筋	体言類
96	6 -にくい	見にくい、書きにくい、よみにくい	相言類	135	5 -ふし・-ぶし	追分節、安来節	体言類
97	6 -やすい	わかり易い、住み易い、消えやすい	相言類	136	5 -あう	話し合う、助け合う、知り合う	用言類
98	6 -うじ	山田氏	体言類	137	5 -おり	菓子一折り、二つ折りにする	用言類
99	6 -かたがた	涼み旁、見舞かたがた	体言類	138	5 -かねる	言い出し兼ねる、見兼ねる、ことわり兼ねる	用言類
100	6 -かぶ	古株、番頭株、ダリア三株	体言類	139	5 -きれ	ひときれ	用言類
101	6 -がしら	出会い頭、出世頭、もうけ頭	体言類	140	5 -こくる	黙りこくる	用言類
102	6 -がら	人柄、場所柄	体言類	141	5 -こむ	考え込む、数え込む、老い込む、かかえ込む	用言類
103	6 -ぐさ	語り草、お笑い種、質草、言い草	体言類	142	5 -じまい	見ずじまい、店じまい	用言類
104	6 -こ	売り子、かぎっ子、一人っ子、いじめっこ	体言類	143	5 -づける	関係付ける、元気付ける、位置づける	用言類
105	6 -すけ	雲助、でこ助、飲み助	体言類	144	5 -なかせ	先生泣かせ、医者泣かせの病氣	用言類
106	6 -ところ・-どころ	きれいな所、三役所、打ち所、ひと所	体言類	145	5 -に	父親似、おかあさん似	用言類
107	6 -どん	鰻井、カツ井、天井	体言類	146	5 -ふり	一振りの刀	用言類
108	6 -くずれ	御家人崩れ、役者崩れ、新聞記者崩れ	用言類	147	5 -やがる	笑いやがる、食べやがる	用言類
109	6 -さし	一差し舞う。	用言類	148	4 -さまさま	お金様様、クレー様々	その他
110	6 -さす	言い止す、読み止す	用言類	149	4 -っこない	聞こえっこない、わかりっこない	その他
111	6 -そびれる	言いそびれる	用言類	150	4 -の	三幅ぶとん、三幅敷き布団	助数詞
112	6 -だて	とがめ立て、とめたて、二本立て、二頭立て	用言類	151	4 -がたない	離れがたない、忘れ難い、逃れ難い	相言類
113	6 -つけ	行きつけの店、かかりつけの医者、糊付け	用言類	152	4 -よい	書き良い、住み良い、読み良い	相言類
114	6 -づけ	千枚漬け、奈良漬け、テレビ漬け	用言類	153	4 -がた	闘士型、うるさ型、卵型、ハート型、血液型	体言類
115	6 -づけ	さん付け、一日付け	用言類	154	4 -ぎみ	姉君、弟君	体言類
116	6 -なす	山成す書類、山なす大波	用言類	155	4 -ごろ	見頃、年頃、三時頃	体言類
117	6 -ふるす	使い古す、着古す、言い古す	用言類	156	4 -つら・-づら	よこつたら、うわつたら、金持ち面	体言類
118	6 -まわり	ひとまわり、挨拶まわり、浴室周り、水周り	用言類	157	4 -べ	浜辺、海辺、野辺	体言類
				158	4 -むね	民家三棟が全焼	体言類
				159	4 -もの	瀬戸物、近海物、時代物、片付け物、冷や汗物	体言類
				160	4 -かける	だしかける、消えかける	用言類
				161	4 -きり	かかり切り、つき切り、着た切り	用言類

頻度	見出し語	語例	品詞性	頻度	見出し語	語例	品詞性
162	4 - きる	読みきる、弱りきる、つかいきる、やりきる	用言類	205	3 - がかり	会計係、案内係、進行係、出札掛	用言類
163	4 - ぎらい	勉強嫌い、食わず嫌い、カメラ嫌い	用言類	206	3 - がれ	夏枯れ、青枯れ、立ち枯れ、品枯れ	用言類
164	4 - ぐるい	女狂い、死に物狂い、競馬狂い	用言類	207	3 - きざみ	五円刻み、八分刻み	用言類
165	4 - こける	笑いこける、眠りこける	用言類	208	3 - くさる	言い腐る、しくさる	用言類
166	4 - ずみ	解決済み、試験済み、検査済み、承認済み	用言類	209	3 - さし	一刺し、いか刺し	用言類
167	4 - そめる	夜が明け初める	用言類	210	3 - しめ	半紙一締め	助数詞
168	4 - だす	笑い出す、歩き始める	用言類	211	3 - しらず	世間知らず、恩知らず、命知らず	用言類
169	4 - つける	しかりつける、みせつける	用言類	212	3 - そこなう	やりそこなう、死にそこなう	用言類
170	4 - づくり	粘土作り、国作り、ガラス作り	用言類	213	3 - たてる	はやし立てる、まくし立てる	用言類
171	4 - どまり	大宮止まり、部長止まり	用言類	214	3 - だおれ	掛け声倒れ、食い倒れ、着倒れ	用言類
172	4 - に	水煮、角煮、クリーム煮、甘露煮	用言類	215	3 - つくす	埋め尽くす、立ち尽くす	用言類
173	4 - ぬき	昼飯抜き、商売抜き、五人抜き	用言類	216	3 - とおす	やり通す	用言類
174	4 - ぬく	がんばり抜く、泳ぎ抜く	用言類	217	3 - とび	かえる跳び、桂馬跳び	用言類
175	4 - のり	二人乗り、五十人乗りの自動車	用言類	218	3 - なおす	やり直す、飲み直す	用言類
176	4 - はぐれる	乗りはぐれる、言いはぐれる、食いはぐれる	用言類	219	3 - はたす	使い果たす、打ち果たす	用言類
177	4 - まかせ	風任せ、力任せ、あなた任せ	用言類	220	3 - はてる	困り果てる	用言類
178	4 - まみれ	血まみれ、どろまみれ、ほこりまみれ	用言類	221	3 - びらき	海開き、店開き、プール開き	用言類
179	4 - よけ	虫除け、霜除け、どろぼうよけ、日よけ	用言類	222	3 - もち	大金持ち、力持ち、男持ち、太刀持ち	用言類
180	4 - わり	部屋割り、頭割り、均等割り、一割	用言類	223	3 - やけ	日焼け、朝焼け、夕焼け	用言類
181	3 - い	四角い、茶色い、ナウい	その他	224	3 - ゆき	三省堂行き、東京行き	用言類
182	3 - く	惜しげくもなし、のたまはく	その他	225	3 - わたる	行きわたる、鳴り渡る、響き渡る、明け渡る	用言類
183	3 - しい	たどたどしい、ばかばかしい	その他	226	2 - いきれ	人いきれ、草いきれ	その他
184	3 - ずつ	毎日少しずつ飲む、十人ずつ、少しずつ	その他	227	2 - がい	生き甲斐、年甲斐、頼み甲斐、	その他
185	3 - そこそこ	千円そこそこの品	その他	228	2 - けし	のどけし	その他
186	3 - たがる	行きたがる、食べたがる	その他	229	2 - たい	じれったい、野暮ったい	その他
187	3 - ちゃま	おじちゃま、おばあちゃま	その他	230	2 - たれ	ばかたれ、あほたれ	その他
188	3 - はん	鈴木はん、社長はん	その他	231	2 - っぺ	田舎っぺ、言い出しっぺ、花子っぺ	その他
189	3 - しお	一人	助数詞	232	2 - と	ころころと転がる	その他
190	3 - ふで	一筆書き	助数詞	233	2 - ひこ	照彦	その他
191	3 - ぶかい	底深い、えんりよ深い、なさけ深い	相言類	234	2 - ぶら	銀ぶら、道ぶら	その他
192	3 - あたり	来年辺り、そこらあたり、五時あたり	体言類	235	2 - る	皮肉る、サボる、けちる	その他
193	3 - かぜ	大尺風、臆病風	体言類	236	2 - ろう	次、上臈、下	その他
194	3 - がわ	東側、左側	体言類	237	2 - え	一重、二重、三重、十重、二十重	助数詞
195	3 - ぐち	出入り口、東口、非常口	体言類	238	2 - こり	五三梱、二十こり	助数詞
196	3 - だいら	松本平、善光寺平	体言類	239	2 - たび	三度、一度、幾度	助数詞
197	3 - どき	花見時、食事時、梅雨時、昼飯時	体言類	240	2 - はこ	一箱	助数詞
198	3 - はだし	玄人はだし	体言類	241	2 - はら	たらこ二腹	助数詞
199	3 - うる	考え得る、有り得る	用言類	242	2 - ひろ	一尋	助数詞
200	3 - える	知り得る	用言類	243	2 - いろ	二色の言い回し	体言類
201	3 - おおせる	逃げおおせる、隠しおおせる、やりおおせる	用言類	244	2 - がお	あきれ顔、主人顔	体言類
202	3 - かかる	もたれかかる、攻めかかる、倒れ掛かる	用言類	245	2 - きち	音キチ、カーキチ	体言類
203	3 - かぎり	今日かぎり	用言類	246	2 - くみ・ぐみ	五人組の男、ネットベンチャーの勝ち組	体言類
204	3 - かさね	ふた重ね、訪問重ね	用言類	247	2 - こと	泣き言、ひとり言	体言類
				248	2 - こまち	秋田小町	体言類
				249	2 - ごし	喧嘩ごし	体言類
				250	2 - しな	八品のコース料理	体言類
				251	2 - しろ	のりしろ、みたま代、取りしろ	体言類
				252	2 - じるし	三角印、丸印	体言類
				253	2 - すがた	寝巻き姿、ランニング姿	体言類

	頻度	見出し語	語例	品詞性
254	2	-ひより・ -びより	小春日和、行楽日和、秋日和	体言類
255	2	-ま	六畳二間のアパート	体言類
256	2	-むし	泣き虫、弱虫	体言類
257	2	-もり	墓守、灯台守	体言類
258	2	-あけ	休暇明け、宿直明け、忌明け	用言類
259	2	-あげる	きたえ上げる、縛り上げる、おだて上げる	用言類
260	2	-あつかい	邪魔者扱い、書生扱い、部長扱い	用言類
261	2	-あて	腹当て、ひじ当て	用言類
262	2	-おおす	かくしおおす、やりおおす、しおおす	用言類
263	2	-かえり	ひと回り、幾回り	用言類
264	2	-かねない	降り出しかねない、やりかねない	用言類
265	2	-かわす	鳴き交わす、取り交わす、酌み交わす	用言類
266	2	-ぎれ	高野切れ	用言類
267	2	-くだす	読み下す、書き下す	用言類
268	2	-くら	かけくら、おしくら	用言類
269	2	-ぐり	資金ぐり	用言類
270	2	-こがれる	気持ち焦がれる、恋焦がれる	用言類
271	2	-さびる	神さびる	用言類
272	2	-さる	忘れ去る、抜き去る	用言類
273	2	-すぎる	し過ぎる	用言類
274	2	-すます	成り済ます、行い済ます	用言類
275	2	-ずき	外出好き、酒好き	用言類
276	2	-そだち	田舎育ち、温室育ち、お嬢さん育ち、東京育ち	用言類
277	2	-ちらす	食い散らす、怒鳴り散らす	用言類
278	2	-つかい	魔法使い、金使い、両刀使い	用言類
279	2	-つめる	見詰める、通い詰める、煮詰める	用言類
280	2	-とばす	蹴飛ばす、ぶっ飛ばす	用言類
281	2	-ならわす	呼び習わす、言い習わす	用言類
282	2	-にぎり	一握りの米	用言類
283	2	-のめす	たたきのめす、しゃれのめす、うちのめす	用言類
284	2	-はじめる	書き始める、見始める	用言類
285	2	-ばえ	仕立て栄えがする、舞台栄えする	用言類
286	2	-まくる	食べまくる、走りまくる	用言類
287	2	-まわす	ながめ回す、乗り回す、見回す、眺め回す	用言類
288	2	-まわる	歩き回る、動き回る、走り回る	用言類
289	2	-むき	東向き、外国人向きの入門書	用言類
290	2	-もうで	宮詣で	用言類
291	2	-わずらう	思い煩う、悩み煩う、行き煩う	用言類
292	2	-わたす	見渡す、眺め渡す	用言類
293	2	-われ	片割れ、仲間割れ、大台割れ、定員割れ	用言類